

事業所名 のびのび広場エミタス野田教室

## 支援プログラム (参考様式)

作成日

令和7年

3月

12日

法人(事業所)理念	「みんなの未来を笑顔にする」～「笑み」を「足す」エミタス～		
支援方針	3つの柱で「一人ひとりに合わせた生きる力を育みます」 <ul style="list-style-type: none"> <li>運動プログラム…運動フロアにてのびのびと身体を動かし、平衡性・身体協調性、情緒・行動のコントロールの発達を促す</li> <li>食育…専用畑で栽培・収穫・調理を自分の手で行うプログラムにより、五感を養い、情緒を育む</li> <li>多彩な体験…外出活動や外部講師によるダンス教室、科学おもちゃ教室、の実施により、興味を広げたり、社会性を学ぶ機会を作り、自己肯定感を高める</li> </ul>		
営業時間	平日 11:30～17:30 土・祝・長期休暇 10:00～16:00	送迎実施の有無	あり なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	日常生活での基本的な動作が、自分でできることがひとつでも増やしていけるように支援し、習慣を付けていきます。 専用畑での作業を通じて、五感を刺激し、人や物、命を大事に思う気持ちを養います。季節感を大切にして、情緒を育みます。自分で育てた野菜で調理することにより、愛着が湧き食べられる食材を増やしていきます。 <活動例>・来所・降所時の荷物整理、手洗い・トイレ・着替え等 ・毎日のおやつのお片づけ、掃除 ・季節ごとの行事活動 ・エミタスファームでの、種まき、手入れ、収穫作業、調理実習	
	運動・感覚	遊びの中や日常生活の中で、自然に身体を使い、動かし方が身につくような活動を意識しています。真似をすることで見る力聞く力もつけていきます。 粗大運動から微細運動まで、様々な動きを取り入れています。 <活動例>・ラジオ体操の実施 ・外部講師によるダンス教室、科学おもちゃ教室 ・バランスボール、サーキット運動、ゴムハードル、大小ボール遊び等 ・お手玉、あやとり、折り紙、工作、ボタン練習等 ・毎日の掃除のぞうきん掛け・絞り、ほうきちりとり使う練習	
	認知・行動	数量、大小、色、空間概念の形成など、多岐にわたるプリントを用意し、一人ひとりに合った個別学習をしています。 スケジュールや物の置き場所を視覚的に分かりやすく提示し、タイマーや砂時計で時間を知らせ、切り替えがスムーズにいくようにしています。 <活動例>・すごろく、パズル各種 ・お絵描き、ぬりえ ・まちがい探し、形写し、型はめ	
	言語コミュニケーション	挨拶から始まる一日は、できないこと、わからないこと等困りごと、伝えれば良いのだと学んでもらい、安心して過ごせる環境にしていきます。 感情が高まった時の過ごし方、絵カードやジェスチャー、サインも使用し、自分の思いを表出できるように支援します。 絵本やカードを使いながら、語彙を増やし、言葉の使い方を学んだり、口の動きを真似して発音の練習をしたりしています。 <活動例>・あいさつのやり取りの練習 ・絵本読み聞かせ ・あいうえおカードで言葉作り、しりとり、かるた ・SSTすごろく	
	人間関係社会性	順番やルールを守り、協力し合う活動を通して、同年代また異年代の子どもの関わり方を学んでいきます。 親、学校の先生以外の、他人の大人と関わり、信頼関係を築き、子どもの世界を広げていけるよう支援します。外出活動で、施設以外の人との関わりや、その場所のマナーやルールを学びます。 <活動例>・集団遊び、調理実習 ・図書館や児童館、公園、資料館、博物館といった外出活動 ・スーパーでの買い物体験	
家族支援	・年2回のモニタリング時の面談 ・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助 ・子育てに関する困りごと相談、サポート ・子育てや障害福祉に関する情報提供 ・保護者会やイベント等による親同士や兄弟の交流の場の提供	移行支援	・入学・進学に向けての相談支援 ・図書館・児童館・地域の公園等の利用、地域のまつりへの参加等による、地域とのつながり ・近隣のスーパーでの買い物体験
地域支援・地域連携	・相談支援事業所や他事業所と支援会議やモニタリング等の情報交換を行い、連携して支援計画を作成し療育に生かしていく ・地域の児童発達支援センターの開催するミーティングへの参加による情報交換	職員の質の向上	・毎日のミーティングでの情報共有による学び合い ・定期的な事業所内研修の実施 ・外部研修への派遣、資格取得の推奨
主な行事等	夏まつり、ミニ運動会、芋ほり、クリスマス会、大掃除、初詣、七草がゆ、節分会、バレンタイン制作、ひなまつり、お花見、エミタスファーム収穫祭など		